

はじめに

太陽の恵みを生かそう

古高 利男

2月8日は大雪だった。ここ我孫子では、10センチ程積もった。

風に舞う大小の綿のように降る雪を炬燵から眺めていると、殺風景な庭はあつという間に雪化粧をされ、まるでわびさびのある「庭園」らしくなってきた。

日本酒を片手に雪の舞いをのんびり眺めていると、「これを贅沢というのか？」と思えてきた。

翌日は晴天で、庭の雪はあつという間に解けてしまった。

「灯油で消し去ろうとしたら、いったいどのくらいの時間と費用がかかるのだろう」と思うと、あらためて太陽のすごさに感嘆するのだった。

「布団干す幸せらしき家族かな」(我孫子市 渡部肇幸 3月8日 朝日)
という句を目にした。

我が家も、天気予報を調べて、布団を干す。時々ひっくり返して、太陽がたくさん布団に当たるようにする。2時過ぎに取り入れるときには、ふんわりと厚くなっている。

夜、布団に潜り込むと、日の香りとともに、さらっとしてほんのりと暖かい。なんと心地よいことか！「妻も、きっと、気持ちよく就寝しているのだろうな」と、想像する。

洗濯物も、断然、外だ。太陽に当たった洗濯物は、パリッと乾いてくれる。

寒い朝は、石油ストーブで暖房してもなかなか部屋は暖まらない。が、日差しが部屋に入ってくると、急に暖かくなってくる。

この「太陽の恵み」を、もっともっと活用できないかと思うのだが。太陽光発電・太陽熱温水器・・・、その他には、何があるのだろうか？

植物は、太陽の恵みを最も効率よく利用している。

太陽の光をもらい、二酸化炭素と水からデンプンを作り出す。光合成だ。この植物の光合成が食べ物を生産し、それを食べさせてもらって人間は生きている。

無から有を生み出す植物。

大根は、わずか0,005グラムの一粒子の種が始まりだ。それが3ヶ月間太陽の光を浴びると、1キログラムもの大きさに育つ。重量比は、なんと20万倍だ。

人間をはじめとしたあらゆる生き物、昆虫・野鳥・魚・動物などの食べ物を生産している植物。その植物を支えているのが、土だ。

土は、植物はもちろんのこと人間を含めたあらゆる生き物の遺骸を分解して

くれるなくてはならない役割を果たしている。分解者だ。

土は遺骸を無機質化し、それを養分にして植物は育ち食料を生産している。そこには太陽が深く関わっているということを、人は知ることだ。そうして、太陽という存在の恵みを、たくさん生かしていく日常が求められているのではないだろうか。

そんな折、一通の手紙がきた。

元のらえもん会員で、現在は八ヶ岳の麓に住む藤井さんからだ。

こちらは、マイナス7℃まで下がる日もありますが、
窓から見る雲一つない広々とした青い空や、
差し込む暖かい太陽の光や、
白くなった北岳・甲斐駒ヶ岳を見ていると、
幸せとは、
こういうことなのだ、
と、
感じます。

コーヒーを飲みながら、白銀の山々を見ているのでしょうか。

清々しい情景です。

太陽の暖かさとともに、凜とした空気が伝わってきます。

「幸せ」とは、空気のようなものなのではないでしょうか。

当たり前で気づかない、穏やかな日常生活が日々繰り返されていること、その繰り返しのなかで個人の生活が続き、社会的には文化・伝統が受け継がれ発展していくのではないのでしょうか。

日常生活が継続していくことの先に「平和」があるような気がします。

「平和ボケ」という言葉を世界共通の願いとして、どんどん輸出してもらいたいと思います。

のらえもんの皆さんには、いつまでも「幸せ」を感じられる日々を過ごしてもらいたいと願っている。

そのためにも、参加者が帰りながら「今日よりは明日へ」と意欲のわく活動にしたいと、あらためて決意する次第である

本年度もたくさんご協力していただいたのらえもんの皆様、宅間様、「ゆめ」
「足立区」の助成、そして、なによりも、いつも温かく迎えてくれた「自然」
に、深く感謝申し上げます。

2025年度 活動報告一覧

回	実施日	活動内容	場所	参加者
1	4月 6 (日) 13:00～ 15:00	桜見物と カブトムシの幼虫配布 新入生紹介	都市農業公 園	大 19 小 5 幼 5 計 29
2	5月11 (日) 全日	田植え体験 カイコの卵配布 アサヒビール守谷工場見学	宅間農園 バス	大 26 専 1 小 8 幼 3 計 38
3	5月24日 (土) 14:00～ 16:00	手長エビ釣り 初めての手長エビ釣り 講師：山岸 克也	新芝川 水門の近く	大 8 高 3 小 3 幼 1 計 15
4	6月14 (土)～ 15 (日) 1泊2日	茶臼岳登山と温泉 3回目 今年も雨でした。 でも、温泉は最高！	那須塩原 電車	大 11 小 2 計 13
*	7月上旬～下旬	桃の販売協力 14年前にお世話になった宮原 さんの桃を直販しました	塩山 宮原農園	
5	7月25 (金)～ 27 (日) 2泊3日	第16回夏休みキャンプ体験 「アウトドアライフを日常の生 活に取り入れよう」	日光市土呂 部 キャンプイ ンドロブッ クル	大 14 中 2 小 4 幼 2 計 22
6	8月23 (土) 15:30～ 18:00	ハゼを釣ろう 17回目 講師：福藤 恭司 満潮：18:21	都市農業公 園下の荒川	大 11 高 2 小 2 計 15

7	9月 7日(日) 全日	稲刈り体験 16回目 田んぼ遊び、虫取り JAXA 見学	宅間農園 バス JAXA	大 3 中 2 小 1 幼 6 計 44
8	10月18(土) ～19(日) 1泊2日	思い出の藤原を訪ねる 谷川岳散策	谷川岳 藤原 民宿関ヶ原 バス	大 1 小 2 計 13
9	11月 8(土) 11:30～ 12:30	のらえもん米の引き渡し 宅間さんへのお礼 販売総量1232, 4kg	いきいき館 駐車場	
10	11月11(土) 14:00～ 16:00	草木染め 藍染めに挑戦 2回目	山口宅	大 1 小 3 幼 2 計 16
11	12月 8日(日) 14:00～ 16:00	サケの一生の紙芝居と地球温暖化、冬の野鳥観察	都市農業公園	大 5 小 2 幼 1 計 8
12	12月27(土) 12:00～ 14:00	・しめ縄づくり 16回目 稲刈りのわらを使って	いきいき館	大 1 高 5 計 18
14	12月27日(土) 15:00～ 17:00	もちつき3回目 みんなの健康と豊作を祈って	山口宅	大 1 高 3 小 2 幼 1 計 23
15	1月17(土) ～18(日) 1泊2日	第18回雪山体験教室 「雪の里山体験 ・・・寒さを楽しもう・・・」 ・ 冬の星座観察、寒さ実感、 ・ カフェのらえもん	菅平ダボス スキー場 菅平プリン ホテル バス	大 1 高 3 中 7 小 6 幼 1 計 28

16	2月 1 (日) 10:00~ 12:00	博物館見学 東大院生が開設し、生きた科学を教えようとしている。	柏 EXEDRA	大 5 小 2 計 7
17	2月14 (土) ~15 (日) 1泊2日	土呂部の冬のごちそう 「メイプルシロップの樹液採り」 1日目：樹液採り 星の観察 2日目：里山でソリ遊び	日光市土呂部 宿泊 水芭蕉苑 電車	大 4 小 1 幼 1 計 6
18	3月 1 (土) 13:00~ 15:00	森と環境、発表会 持続する社会に向けて ・土呂部の自然 ・イタヤカエデの樹液を味わう、糖度を測る ・地球という生態系	いきいき館	大 13 小 2 幼 3 計 18

参加者合計 大人 219
高校生 12
中学生 8
小学生 47
幼児 25
合計 311

* 生物教材の配布

次のような生物教材を、
希望する小学校・保育園・幼稚園および会員に配布しました。

- カブト虫の幼虫
- カイコの卵
- サケの受精卵は、海水温暖化のため、今年も入手できませんでした。